

<b>科目名</b>	丈夫な馬づくり学
<b>開講期間</b>	4月～8月 毎週木曜日（全15回+レポート作成）
<b>講義時間</b>	16時30分～18時
<b>履修時間数</b>	22.5時間（1.5時間×15回）
<b>単位数</b>	2
<b>授業形態</b>	講義（対面又はオンライン） オンデマンドによる補講あり
<b>担当教員名</b>	南保 泰雄（帯広畜産大学・教授）、田上 正明（帯広畜産大学・特任教授）、井上 裕士（イノウエホースクリニック・院長） 他 競走馬生産育成専門家
<b>授業概要</b>	<p>主として競走馬を生産しているオーナー、牧場関係者、生産育成関係者や、これらの業務に興味をもつ学生や新たな情報を求める社会人学生に対して、生産育成技術として即戦力となる情報、技術を理解し、討議する講義となっている。日本の馬の生産管理について、より発展した知識や対処方法を養うための授業内容である。</p> <p>予習・復習および試験、その他の情報提供等のために、Moodle を使用する。プログラムを学ぶ実践講義として役立てていただきたい。</p>
<b>到達目標</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>競走馬の医学情報と競走成績について理解する。</li> <li>競走馬のスポーツサイエンスについて理解する。</li> <li>競馬の馬場やゲートについて理解する。</li> <li>競走馬の栄養管理、飼養管理を討議できる。</li> <li>競馬サークルで活躍する代表者からの意見を聴講し、経営を理解する。</li> </ol>
<b>授業計画</b>	<p>馬生産</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>オリエンテーション、競走馬生産総論</li> <li>丈夫な馬づくり生産編</li> <li>寄生虫から愛馬を守る</li> <li>海外のサラブレッド生産動向</li> <li>生産率を向上させる繁殖医療</li> <li>種牡馬の管理</li> </ol> <p>育成</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>馬の見分け方</li> <li>寒冷地における生産育成</li> <li>馬とのコミュニケーション、ジョインナップ</li> <li>丈夫な馬づくり育成編</li> <li>海外におけるサラブレッド育成</li> <li>中期育成と上場に向けた準備</li> <li>国内の馬市場</li> </ol>

14.生産育成における AI 利用

15.その他

16. 総括とレポート作成提出

※授業中の質疑応答を評価することもある

※講師の都合により、講義の順番が変更になることがある。

#### キーワード

馬生産、馬育成、繁殖医療、海外、種牡馬、コミュニケーション、相場、市場（セリ）、

#### テキスト・配布資料

各回で moodle により資料データを配布する

#### 成績評価の基準と方法

レポートにより総合して評価する。

基本的に、15 授業項目ごとに 200 文字以内で学習内内容をまとめ、加えて実践するべき生産育成管理について 1000 字程度でまとめたレポート提出を基本とする。

最終的に評点は 100 点満点に換算し、60 点以上で合格とする。